

低酸素水塊動向調査結果

資料：水質観測（8/22 東京内湾：わかふさ），水質保全研究所の8/10観測データ

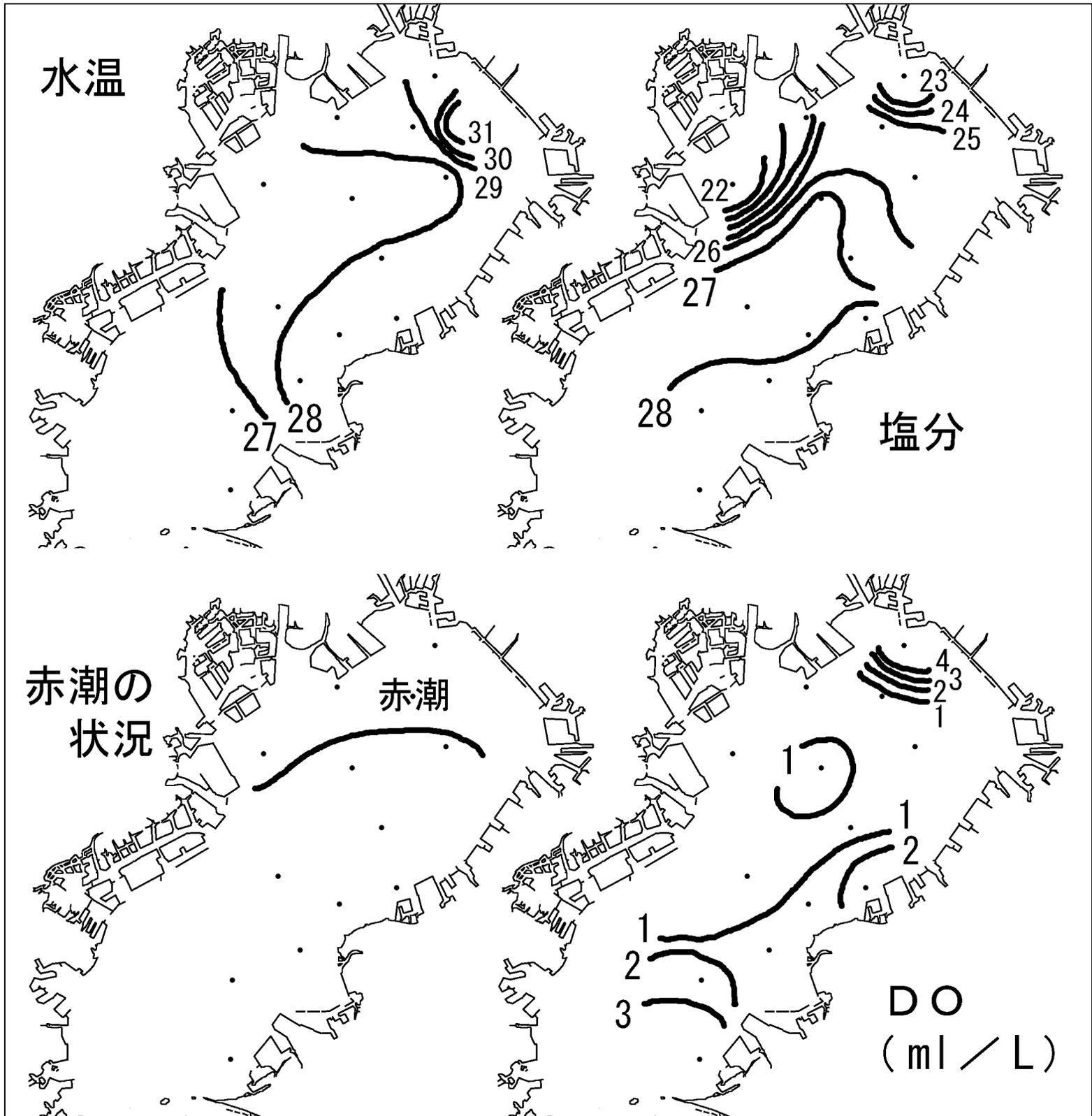


図1 表層の水温，塩分，赤潮の状況と底層のDO

水温・塩分の状況 (図1, 2, 表1)

表層の水温は26~31 でした。塩分は21~28でした。縦断面の鉛直分布をみると水温は20~29 , 塩分は22~33でした。

低酸素水塊の状況 (図1, 2, 参考: 図3, 4)

内湾の底層は依然として低酸素状態です。水試では2.5 ml / L (酸素飽和度50%)以下を低酸素水としています。漁業種類によってはそれ以上でも影響がでる場合もありますので注意してください。

湾奥(船橋7番ブイ付近)の4 ml / L 台は一時的なものだと思います。

赤潮の状況 (図1, 5, 表1)

湾奥部で赤潮です。

植物プランクトンの量の指標となるクロロフィルa量は27~174 μg / L でした。最大は東京灯標付近です。

赤潮の主なプランクトンは珪藻のタラシオシラ (Thalassira sp.) でした。



図3 底層のDO分布 (8月10日, 水保資料)

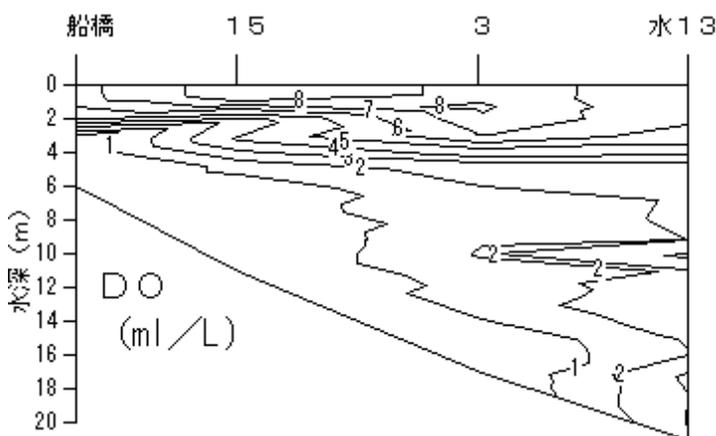


図4 DOの鉛直分布 (8月10日, 水保資料)

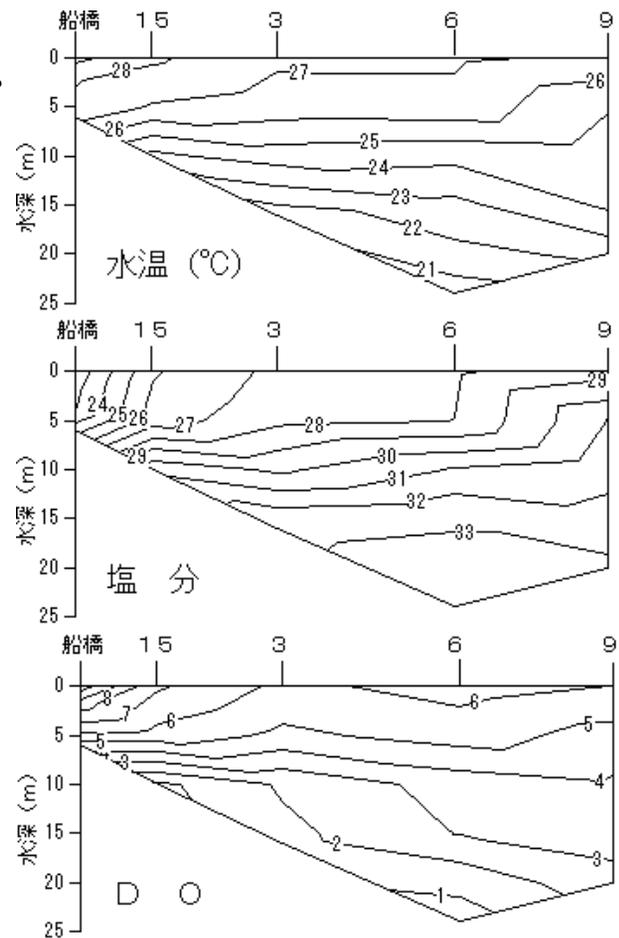


図2 内湾の鉛直分布

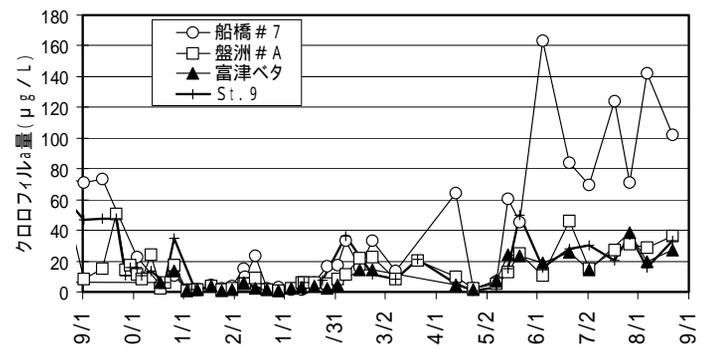


図5 クロロフィルa量の変化

表1. 水質調査結果(表層)

調査日: 8月22日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	クロロフィルa量 (μg/L)
船橋	1.0	29.3	22.3	*8.7	101.9
St. 15	1.4	28.2	25.9	*8.7	49.9
st. 3	2.0	27.2	27.2	*8.7	25.9
St. 6	1.6	27.2	27.9	8.7	38.5
St. 9	2.0	26.8	28.6	8.6	33.2
盤洲Cブイ	1.7	28.6	28.1	8.7	31.6
盤洲Bブイ	1.7	28.6	27.4	8.7	32.2
St. 8 (盤洲Aブイ)	1.8	28.6	28.3	8.7	36.2
富津ベタ	2.0	26.8	28.8	8.7	27.1

pHの*は8.7以上です

観測日記

今回の観測はとても暑かったです。30 を超える水温は異常ですね